



作業療法士の就労支援を 1UP！
～脳損傷後，医療機関での支援を中心に～

講師：中島 裕也

所属：福井医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科
福井県高次脳機能障害支援センター

“就労”は，人の社会参加形態のひとつであり，そこから得られるものは賃金だけではない。人と人との社会的な繋がりや，その中での“感謝”や“役立つ”といった経験から生まれる自己肯定感や自己存在感など得られるものは多い。“仕事好き”の方は，自身のアイデンティティの一部にもなり得るだろう（私もその一人だが…）。故に，突然起こりうる脳損傷などの中途障害により，就労困難な状況に陥ると，経済的，精神的損失は大きい。また，脳損傷後の高次脳機能障害者は，他の障害に比べても就労が困難とされており（田谷 2011），十分な支援が必要である。よって，受傷・発症後に就労支援の流れを築くことになる，医療機関に所属している作業療法士（以下，OT）の役割は非常に重要であると日々感じている。

OT の高次脳機能障害に対する就労支援の取り組みとしては，就労準備として職業適性判断やリアルフィードバックを用いた病識欠如への対応が挙げられている。また就労定着については，診療報酬等の制約があり，OT の直接的な関与が難しいことから，職業リハビリ領域との協働・連携が重要視されている（佐藤ら 2018）。しかし医療機関において，高次脳機能障害者の就労支援を行う上では，①アセスメント不足（休職期間や所得保障期間），②ソーシャルワークの不足（河村 2009），③アウトリーチ型の支援が困難，④職業リハビリ領域との連携時の問題（田谷 2007）といった課題がある。そして，OT の就労支援について，2000 年初頭（菊池 2002）と 2020 年（池田ら 2020）の報告を比較しても，職業リハビリの知識や技術などが不足しているという課題には変化が見られていない。

そこで本講演では，医療機関で行える就労支援を，職業準備性と休職期限（アセスメント），支援機関に繋ぐタイミングと職場支援（マネジメント）といった視点で，関係する社会保障制度についても触れながら解説を試みる。私が一般臨床から高次脳機能障害支援コーディネーターとして就労支援を開始する際，当時の私に欠けていたノウハウを伝えることで，OT の就労支援が 1UP（ワンアップ）する一助となれば幸いである。

略歴

氏名：中島 裕也（なかじま ゆうや）

現職：福井医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 助手
福井県高次脳機能障害支援センター

【学歴】

2008 年 3 月 福井医療技術専門学校卒業

2021 年 4 月～ 福井医療大学大学院（修士課程）

【職歴】

2008年4月～2013年3月 福井総合病院 リハビリテーション課

2013年4月～2022年3月 福井総合クリニック リハビリテーション課, 福井県高次脳機能障害支援センター支援コーディネーター (専任)

2022年4月～現在 福井医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 (助手), 福井県高次脳機能障害支援センター支援コーディネーター (兼務)

【主な活動】

2008年4月に福井総合病院リハビリテーション課へ入社し, 回復期病棟にて脳損傷後の高次脳機能障害者のリハビリテーションを中心に従事する。

2013年4月より, 福井県高次脳機能障害支援センターの支援コーディネーター (専任) に従事し, 高次脳機能障害者の社会復帰支援を行う。

2022年4月からは, 福井医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 (助手), 福井県高次脳機能障害支援センター支援コーディネーター (兼務) に従事している。

【業績】

- 中島 裕也, 川端 香, 杉本 志保理, 宮原 智子, 小林 康孝: 高次脳機能障害者の Self-awareness に対する日本語版 SRSI (Self-Regulation Skills Interview) の実践活用. 作業療法 40(6), p793-803, 2021
- 中島 裕也, 酒井 涼, 杉本 志保理, 小林 康孝: シームレスな連携と職場支援における作業療法介入が奏功した高次脳機能障害復職支援事例. 作業療法 40(5), p665-673, 2021
- 中島 裕也, 小林 康孝: 高次脳機能障害における支援の均霑化を目指して 第2報-医療から地域にかけた支援実態把握と支援ネットワーク構築. 福井医療科学雑誌 17, p25-34, 2020
- 中島 裕也, 小林 康孝: 高次脳機能障害における支援の均霑化(きんてんか)を目指して-福井県の支援実態把握と今後の展望-. 福井医療科学雑誌 15, p28-32, 2018
- Kaori Kawabata, Yuya Nakajima, Takehiro Makino, Kobayashi Yasutaka: Support for Returning to Work for a Patient of Social Behavior Disorder with Impaired Self-awareness. Journal of Contemporary Psychotherapy, p1-7, 2022
- 中西 真莉奈, 中島 裕也, 橋本 智哉, 小林 康孝: 脳弓と前脳基底部損傷により健忘症状が遷延化した症例. 福井医療科学雑誌 18, p15-20, 2022

【主な所属団体】

- ・日本作業療法士協会
- ・日本高次脳機能障害学会
- ・福井県高次脳機能障害支援センター (支援コーディネーター兼務, 運営委員)
- ・福井県高次脳機能障害友の会「福笑井 (ふくわらい)」(助言・指導, 運営参加・支援)